


# 大分東部地域まちづくりビジョン フォローアップ会議通信

第3号

この通信は、大分東部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容を東部地域の皆様にお知らせして、今後のまちづくりの取組につなげるためのものです。

## 『地域まちづくりビジョン』とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取組をまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、2018(平成30)年7月に市長に提言されました。

### ◎東部地域におけるまちの将来像・『緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり』

#### ○将来像実現に向けた提言

#### 提言1:安全・安心に暮らせるまちづくり

大分東部地区は、津波等の災害が発生した際は浸水が想定されています。災害が発生した際に、子どもや高齢者、体の不自由な方が迅速に避難できるよう体制の強化に取り組むほか、通学路にも危険な箇所も多いことから交通安全対策に取り組むなど安全・安心に暮らせるまちづくりの推進を望みます。

##### 《提案事業》

- ①避難行動要支援者対策事業 ②交通安全対策の推進(自転車のマナー教育)

#### 提言2:地域コミュニティの活性化の促進

地域間交流の不足や高齢者の引きこもりなどにより、地域コミュニティの希薄化が問題になっています。イベントなどを通じてより多くの人に地域活動への積極的な参加を促すことをはじめ、お年寄りや地域の子どもなど3世代がみんなで集まりふれあえるような場の提供や、拠点となる公民館の機能の強化を図るなど、地域コミュニティの活性化を図るための支援を望みます。

##### 《提案事業》

- ①祭りなどのイベントの開催による地域活性化事業 ②お年寄りによる公園管理事業  
③緑地帯活用事業 ④オールドパワーバンク  
⑤みんな集合ふれあい屋(3世代交流事業) ⑥大分東部公民館の機能強化

#### 提言3:地域で子育てがしやすい環境の整備

共働きの世帯が多いことから放課後に子どもがひとりになることも多く、放課後の児童の居場所づくりや、子どもの教育環境の整備を図るなど、地域みんなで子育てをする取組に対しての支援を望みます。

##### 《提案事業》

- ①子どもが活動する場を増やす ②地域の子ども部屋(放課後子ども広場)の開設  
③出産、子育てがしやすいまちづくり ④子どもの教育レベルの向上

## 『フォローアップ会議』とは

大分東部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、東部地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「大分東部地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマに分けて、取組状況を報告し、今後の進め方や課題などについて情報共有や意見交換などを行うものです。



【大分東部地域まちづくりビジョン  
フォローアップ会議を開催しました】

日時：2021（令和3）年11月18日（木）  
19時～

場所：大分東部公民館 大会議室

- 議事：1. 地域まちづくりビジョンについて  
2. フォローアップ会議について  
3. 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の振り返り  
4. 意見交換

### 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況及び意見交換の内容(抜粋)

会議では、事業の取組状況を報告するとともに、事前アンケートにより委員の皆さまの関心の高かった提言2と3の中から、以下の3つの事業について意見交換を行い、その主な内容を本通信に掲載しています。これからも大分東部地域がさらに魅力あるまちとなるよう、地域の皆さんと行政がともに協力しながら各事業の取組を進めていきます。

#### 提言2:地域コミュニティの活性化の促進

##### (事業名)祭りなどのイベントの開催による地域活性化事業

地域活動への参加者を増やすために、企業・地域・学校等でNPO法人を設立し、イベントを開催し地域を活性化させる。

##### 取組状況

##### 【行政】

「地域まちづくり活性化事業」で実施されている各校区・地区の事業について財政面の支援を行っています。また、担当部署においてボランティア団体やNPO法人などが行う公益的活動への支援やNPO設立、運営について専門的な知識を有する職員を配置し、各種相談等に対応しています。

さらに運営基盤強化講座や意見交換会を行い、団体の運営やネットワークづくりの支援を行っています。

##### 【地域】

・城東原川地区体育文化推進協議会と地域のさまざまな団体、企業の協力のもと、「城東春まつり」が開催され地域の活性化に大きく貢献しています。(コロナ禍のため昨年、今年中止)

・祭りで、世代ごとに役割を決め、子どもたちにもその役割を担ってもらうことで、参加を促進させ世代間の交流を図っています。また、人が集まるような内容を企画することに地域のみんなで知恵を絞っています。

・花いっぱい運動・ウォーキング大会・餅つき大会等の各種行事が開催されています。

・津留地区まちづくり協議会で「裏川こいのぼり作戦」を計画しています。

【城東春まつりの様子】



【津留地区 裏川こいのぼり作戦】



### 提言3: 地域で子育てがしやすい環境の整備

**（事業名）子どもが活動する場を増やす**

地域内で世代を超えて交流できるイベントをもっと増やす。

**取組状況**

**【行政】**

「地域まちづくり活性化事業」で実施されている各校区・地区の事業について財政面の支援を行っています。

**【地域】**

- ・地域の子どもたちが集い学べる場所を提供するため、夏休みに「子ども寺子屋」を開設し、地域のボランティアがお世話をしています。
- ・ウォーキング大会の開催により各校区・地区で幅広い年代の地域住民が多数参加し、地区の史跡名所やチェックポイントを巡り郷土の文化を学びながら交流を深めています。ゴールでは郷土料理がふるまわれ、好評です。
- ・子どもが楽しめることを第一に考え、PTA 主催で夏休みに花火大会を企画しました。「初めて花火を見た！」という子どももいて大変好評でした。

【子ども寺子屋の様子】



【ウォーキング大会の様子】



≪会議で出された意見≫

子どもたちの多くは、普段は習い事をしていて、親が共働きの家庭も多くなっている現在、夏休みなどの長期休暇中の平日の普段は学校の授業を行っているような時間帯に、子どもが参加できるようなイベント等が増えると、もっとたくさんの子どもたちが参加できて楽しんでもらえると思います。

**（事業名）子どもの教育レベルの向上**

地域の子どもたちが科学や文化に触れることで多様性を育てる教育施設を、既存の施設の有効活用も検討しながら整備してほしい。

**取組状況**

**【行政】**

現在、関崎海星館や、のつはる少年自然の家では、施設の特徴を生かした科学教室等を開催していますが、大分東部公民館でも、科学的な視点や考え方を学習する「子ども科学体験教室」を実施しており、今後も既存施設の有効活用を図りながら、科学に関する学習機会の充実に努めます。

**【地域】**

- ・校区公民館主催で県立埋蔵文化財センターの歴史体験学習館でまが玉づくり、土器づくり、火おこし体験などの体験学習に参加したり、埋蔵物の展示を見学したりして歴史について学んでいます。
- ・PTAの有志が小学校で読み聞かせ教室を開催しています。
- ・地域の高齢者が地域の歴史や昔の遊び・生活などを小学校等に出向いての出前授業を行うことで、子どもたちに語り継いでいます。
- ・日本製鉄㈱では、科学に興味をもってもらえるように、小学校に出向いての出張授業を開催しています。また、コロナ禍でも社会見学ができるようにビデオ等を製作して令和3年11月から「バーチャル工場見学会」を実施しています。

【まが玉づくり会場の大分県立埋蔵文化財センター】 【日本製鉄㈱による出張授業(科学体験)の様子】



◎その他

【提言1:安全・安心に暮らせるまちづくり】の2つの事業については、昨年度の第2回フォローアップ会議で意見交換を行いました。

また、今回意見交換を行っていない他の事業についても東部地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域でできること」「私たちができること」を中心に、それぞれのテーマで取組状況を報告し、今後の進め方や課題などについて、次年度以降も順次、情報共有や意見交換などを行っていきます。